公民館報 こすど
昭和二十六年十二月一日 発行
小須戸町公民館
町内会長 小須戸中部区 行政区 矢部藤三郎

固定資産の再評価

―出來た苦心の跡―

昭和二十五年度においては旧賃貸価格の九百倍に改訂評価されたが、更に昨年七月地方税法の改正により昭和二十六年度に於て再評価することになり、各市町村では法の定める処に従つて、評価員及評価補助員を設け縣の指導を得て夫々評価事務を開始した。

何しろ評価の権限は市区町村長にあるので各市町村共まち〳〵の方式であるが、本郡では地方事務所の指導により一定の方式による事にした。その方法は田畑については[illegible]元方式

×縣府買上価格×
郡調査率十(公債利率十郡調査率)=評価額

評価員上価格は5,529円00
公債利率は 0.111
郡調査率は 0.055
郡調査率は 0.016

固定資産の評価は昭和二十五年度においては旧賃貸価格の九百倍に改訂評価されたが、更に昨年七月地方税法の改正により昭和二十六年度に於て再評価することになり、各市町村では法の定める処に従つて、評価員及評価補助員を設け縣の指導を得て夫々評価事務を開始した。

何しろ評価の権限は市区町村長にあるので各市町村共まち〳〵の方式であるが、本郡では地方事務所の指導により一定の方式による事にした。その方法は田畑については[illegible]元方式

×縣府買上価格×
郡調査率十(公債利率十郡調査率)=評価額

評価員上価格は5,529円00
公債利率は 0.111
郡調査率は 0.055
郡調査率は 0.016

此の方式によつたが反収を決定するについては農業会、各字農家組合長及農業委員に数回諮詢して反当収量とその地域等級を決定し、畑については田の地域内等級反収の六割と決定し、宅地は旧賃貸価格の千五百倍（昨年は九百倍）山林は旧賃貸価格の三千八百倍（富裕税の基準）その他雑種地は旧賃貸価格の千倍と決定し、更に山間地帯の田畑については更に考慮を加えて決定した。

家屋については先ず標準家屋（対象二十五戸）を定めこれによりその価格を検討し下記の通り凡ての地区を定め建物の種類及構造により更に損耗度を加減して各戸にわたり調査の上決定した。

賃貸価格については各人の申告によりて調査の上原価を定め、損耗度を加減して決定した。

大体以上の方法により決定を見たが、その結果はつぎの通りである。

（田）
一級地 一、五六四反 評価額 二六、三四二千円
二級地 一、六六四反 評価額 二七、三五九千円
三級地 二、五七一反 評価額 四〇、二一〇千円
四級地 一、二六三反 評価額 一九、二四六千円
五級地 四九二反 評価額 六、九〇五千円
等外地 二一八反 評価額 二、六二二千円

（宅地）
旧賃貸価格の千五百倍
田の等級区域内に於ける田評価額の六割

（畑）
旧賃貸価格の三千八百倍

（山林）
旧賃貸価格の三千八百倍

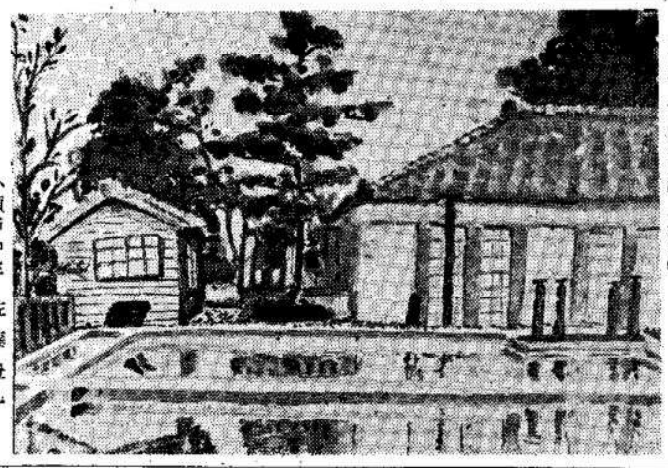
（雑地）
旧賃貸価格の千倍
田の一反歩当り評価基準
一級地反収二石一斗 評価格額一六、八四三円
二級地反収二石〇五升 評価額 一六、四四二円
三級地反収一石九斗五升 評価額 一五、六四〇円
四級地反収一石九斗 評価額 一五、二三九円
五級地反収一石七斗五升 評価額 一四、〇三六円
等外地反収一石五斗 評価額 一二、〇三一円

家屋
居宅町部商店街坪当 最高 一〇、〇〇〇円 最底 三、五〇〇円
居宅町部住宅地区坪当 最高 七、〇〇〇円 最底 二、〇〇〇円
居宅村落地区坪当 最高 八、〇〇〇円 最底 二、〇〇〇円
店舗商業地区坪当 最高 七、〇〇〇円 最底 二、〇〇〇円
店舗住宅地区坪当 最高 三、五〇〇円 最底 一、五〇〇円
土蔵町部地区坪当 最高 二五、〇〇〇円 最底 一〇、〇〇〇円
土蔵村落地区坪当 最高 二〇、〇〇〇円 最底 八、〇〇〇円
倉庫 最高 一〇、〇〇〇円 最底 二、五〇〇円
農舎 最高 六、〇〇〇円 最底 二、〇〇〇円
工場 最高 八、〇〇〇円 最底 二、五〇〇円
小屋 最高 五、〇〇〇円 最底 一、五〇〇円

右家屋については最高最底の間に六乃至九の価格差を設定し評価した。

評価総額
田 一二二、六八七千円
畑 二〇〇千円
宅地 八〇〇千円
山林雑地 六〇千円
償却資産
今年度固定資産税の税率は百分の一、六で本年度はこの評価額により課税せられるので既納税額と差引せられ、納額不足の分については十二、一、二月の三回に分割課税されることになつている。

写生「小須戸町上水道」



小須戸中三 佐藤豊一

郡公民館協議会関係行事

十二月中に於ける郡関係行事は次の通り

一、定期講座研究会
会場 大郷公民館
期日 十二月五日

二、社会教育團体指導者講習会
会場 新津市公会堂
期日 十五、六両日
講師 大井一星氏

吉川縣社会教育課長
●実態発表
青年團、婦人会、PTA
●研究討議
以上のようで青年團、PTA、婦人会の実態発表には郡の優良町村があたることになつており、婦人会の実態発表には特に当小須戸町連合婦人会が推薦され発表に当る予定である。

祭 文化

横川の部屋を顧みて

横川 T生

先年二三回新保女子青年團が一室を飾つていたがその成果につかれて、各々その受持の部屋であつた。

郷土横川の文化祭に結論を得た。だが初めた。また皆さんの声も大実に六つの齢を数えることは会員自体が余りにも大変に好評であつたと安堵きなつた。だが今まできな計画なのでもしや計のようなやり方では大分画割れになるのではないの部屋の飾にこれを反省した場大衆からかけ離れて兎角かと、相当あやぶまれた合まだ〳〵幾多の欠陥をの批判を聞くようになつ程で、役員も一度は不安見出せたし、準備中にもて来たので、それで今年の念にかられたが、そのいろ〳〵と手落があつてこそは何か一と役買つて後冷静に考えも大分落着会員諸氏からお叱りも受清涼剤的な催しを行つていたので、早速準備委けたがまず〳〵成功の部人心を呼び起したいと考会を設置し農事、歴史、えたのが我等

青年團では早くも今春四月の総会で本年度事業計画に際し、色々討議の結果、一層のこと今年度のもおかしい事だが予想以上に大なり小なりの補文化祭に團の足跡を明かに発表しようということは感心もしまた喜びもしたい。

とが予想されるので、部落対抗とでも銘を打つて大大的に行つたら、より以上の成果が得られるのではあるまいか。

こんな行事を催す青年團の補助金支出をお願いする次第である。

更に来年度から他の部落からもこの種の出品もあるこ

市町村の社會教育は

如何にあるべきか

縣社会教育研究大会

縣主催社会教育大会は十一月二十一、二の両日新発田市公民館で開催され本年は特に各種團体代表の指定参加で、本町から長谷川町長（市町村長代表）海津良助（公民館代表）旭中学校長（学校長代表）間野主事（公民館職員代表）が出席した。研究題目「市町村の社会教育は如何にあるべきか」について講演並に実態発表、対談、シンポジアム討論等の後、市、町、農山漁村の五部に分れて班別討議を行ない、最後にその結論をもちよつて綜合討議を行なつたが、舌端火をはくような激しい議論の応酬があり、さすが全縣大会なるかなの感を深くした。結論の主なものをあげれば大体次の様である。

○社会教育の振興なくして市町村の発展は期しがたい。したがつて市町村は自主的に社会教育の綜合計画をたてねばならない。

○市町村社会教育委員会並に社会教育主事の設置は是非必要である。

○公民館は社会教育の推進母体である。故に公民館の内容は十分整備されねばならない。

○国及び縣は社会教育に対して十分なる財政的援助をなすべきである。

等で果してこれを如何に実行すべきか町当局は申すまでもないが、全町協力一致、一丸となつてほんとうに住みよい町、明かるい町つくりに精進せねばならない。

勝の藤先生日頃の研究がこの栄誉を獲得したものである。尚天然色「日光国立公園」は今後巡回幻灯会でも上映の予定である。

スライドコンクール 入賞

中学校写真部の誉れ

十一月十七、八両日長岡市に開催された縣教育委員会主催自作スライドコンクールに応募した小須戸中学校写真部作製の三本中「グラフ」が二等、「日光国立公園」が佳作に堂々入選した。

剛元、加藤、傳田、櫛田

郷土の誉れ 入賞の数々

縣主催農業共進会（長岡）
玄米 一等 長沢信司 横川
一等 丸山敬雄 龍玄

新津市、中蒲原郡勧業共進会（新津）
玄米 一等 長沢信司 横川
益栽 一等 渡辺平七 小須戸
苗木 一等 精華園 鵜出古木

同共進会小中学校図画習字作品展覧会
習字 小学生
特選 森内伸生（小須戸校五年）
一等 たかやまたけしげ（新保校二年）

一等 佐藤仁（小須戸二）
図画 小学生
一等 須藤千太（新保三）
ポスター
一等 井上美佐（横水四）

以上の諸氏美事に特選、または一等に入賞した。

共同募金完納報告

廿六年度募金成績
募金總計 金一〇六、五八二円
内訳 お年玉はがき還付金 三〇、三七二円
すわらじ劇團歌謡会 二一、八八二円

拾二月の時局講座

五日 松井新潟日報主筆 講和と国内問題
二十日 原日銀支店長 講和と経済問題
午後二時半より 会場中学校

営公の式婚結

……近体化具く……

昨年來の結婚改善が仲々思うように行かない点を検討した挙式、披露宴、記念撮影結果、結婚改善実行委員会では柏崎、新発田等の先進地の実態を視察し、それらを参考として近く公営の結婚式場設置を計画しています。町の料理店、写眞店その他の御協力を得て四千円程度の費用で式場、挙式、披露宴、記念撮影まで一切お引受けしようというのです。勿論婚礼は人間一代の盛儀ですから、簡素の中にも厳かに挙式される様十分の準備と御世話を致すことになります。細目については近く委員会で決定の上、全町にお知らせする予定であります。

新保分館 再開定期講座

農繁期も終り燈火したしむの候となつて私達の勉学の時期がやつて來た。新保分館では早くも十二月一日から定期講座を再開したが今回は特に受講生の希望によつて、習字と毎月一回討論会を開催することに決し、よりよき講座にしようと田中分館長はじめ講師陣は張り切つている。

火の用心

新保のよい子達

新保のよい子達は雨の日も風の日も火災に備えて火の用心、火の用心と一日も欠かさず、部落のすみからすみまで巡回してもう五年になる。おかげで小火一つないので益々一生懸命に馬力をかけほんとうに尊い姿を現わしている。このよい子達にこたえるために一層々火の元々に気をつけましよう。

菊花同好會 その名も香ぐわし

去月開催された第六回文化祭の第二会場を華かに飾つて大人気をあつめた菊花の展覧会をよい機会に、同好の人達が相集まつて去月十日小須戸町菊花同好会が結成された。今後この道の一層の研究と全力をあげて普及につとめる事を申合せたが、早くも來年の秋にそなえて今から菊苗や肥料、土壌その他の準備をとととのえて同好者の入会を待つている。

入会希望者は横町吉沢勇蔵氏方へ申込まれたい。

尚文化祭の菊花展に入賞された左の諸氏から賞金金額七百円を公民館に寄贈され各方面から感謝されている。

吉沢勇蔵氏、佐藤作一郎氏、山田彦四郎氏、近藤弘威氏、馬場直衛氏、佐藤徳太郎氏

なぎさ

夜はしん〳〵と更けわたり、草木もねむるウシミツ時、裏町通り村通り、異様な姿の怪漢が、毎夜のようにめぐりゆく、しかも二人で連れだつて……といつたら何か珍しい物語の筋書みたいですがこれは本当なのです。私自身が時々この怪漢に出つくわしてギョッとするのです。そしてその怪漢の前に心から感謝の頭をさげるのです。警察署長自らが先頭に立つて実施してきた深夜のパトロール（巡邏）、そのかげに私達町民の安心しきつた円らかな夢が結ばれておつたのです。

× × ×

町民に親しまれた自治警察が廃されて国家警察にかわることになつた。……しかもそれが町民自身の意志によつて決定した……何かそこに割りきれない感情が残るのですが、町財政の面その他から考えて致し方のないことではあります。しかしわれらの警察として町民との間に結ばれた信頼と親しみだけは、どんなに制度がかわつても持続して行きたいものです。

国警の名が町民との間に冷たい溝をつくることのないようにと願るのは、私が余りにも心配性なのでしようか？（M生）

町のうごき（十一月）

◇三・四日 第六回文化祭
◇七日 第二回時局講演会 講師新大教授植村清二氏
◇八日 読書会
◇廿一・二日 縣主催社会教育研究大会、長谷川町長、旭、海津副館長、間野主事出席
◇廿五日 第三回時局講演会 講師新潟日報主筆松井敬氏
◇廿六日 幻灯委員会
◇廿八日 CIE映画 小須戸分館で
◇廿九日 CIE映画 本館
◇卅日 読書会

幻灯會

十一月二十六日視聴覚委員会で左記の通り決定

十二月プログラム
○たぬきばやし ○東京の委 ○皇太子さま ○雀の学校 ○宮本武蔵

巡回コース
新保分館一日～四日
矢代田々五日～十日
横水々十 日～十四日
小須戸々十五日～月末

名刺交換会

年賀紙上

掲載名刺料100円以上 〆切12月20日

掲載文案に料金を添えて
公民館宛に御申込み下さい

常金寄附金
四一、〇二九円
学生生徒街頭募金
五、四〇三円
婦人会街頭募金
六、〇一五円
役場職員街頭募金
一、二八二円
生長の家信徒寄附金
一、五〇〇円
本年度割当金
一〇五、九〇〇円
十月三十一日全額完納
超過額 五八三円

商店街診断書

川喜多商店研究所長

去月三十日商工会では東京都川喜多商店研究所長川喜多練七郎氏を招き、小須戸町商店街、商店経営その他町振興に関し審さにその診断をお願いし同夜役場で診断報告講演会を催して多大な感銘を与えた。つぎはその診断報告の要約である。……

小須戸町の成立

本町は温泉、佛都、観光都市でもなくまた産業都市でもなく、農村に囲まれた小さな消費町でしかも鉄道に遠く、一面信濃川によつて地域がせばめられ都市としての発展が限られた町である。

従つて座賣り式商店経営が困難なので、行商に出る外ないので商業が発展しない大きな原因となつている。

これを打開振興し生きる道としては附近村落人達を集めて金を落(賣買)ようにする外ない。農村の人達が町へ出て楽しく面白く遊ぶ場所を多く作ることである。喫茶店、映画、劇場等でそれに女を多く置く。泡金のある所に女が移動する例えの通り女の多い少い、がその町の盛衰を計るバロメーターといわれている。部隊が無くなつた新発田に女が少くなり、瀬波温泉へ多く移動して行つた。女は町の苦であり水草である。"水清くして魚住ます"で苦や水草のない清流には魚の集りが悪い。東京の新宿駅前では女が堵列して各種類によつて縄張りを争う位で非常な発展ぶりである。

簡単な娯楽としてパチンコ屋が少ない。

衣料品店

これはその町のバロメーターで女を多く集める方法を講じればならない。行商も悪くなかろうが成る可く店を生かす工風が大切で今は洋服時代だから大巾小巾物を上手に賣られればならない。小巾物は簡単に手にとつて見せられるが大巾物はたやすく出来ないので上からさげて自由に手にとつて選擇出来るようにし店さきにはメリメスや小物類を置くようにする。

菓子店

自家作を七割以上賣らねば成り立たない。それに名物、例えばおかめ菓子、延命せんべいのような名物を多くせねばならない。農村ではバラものが多く歓迎されるのでピン物は体裁はよいが禁物である。

薬店

薬局二坪試験室一坪が規定で医薬分業は現在では余り期待出来ない有名賣薬は別だが旧い賣薬は賣れずストック化す恐れが多分にある新薬、新製剤に主力を置き、脈はとれないが病気の容体を聞えて調合し一種の製薬薬化さねば駄目である。

魚店

一日一回轉を要す。仕出しなら勘金をとられるが切身として多く販賣を心がける　切身の容器はガラス入りではいけない。丸出しが一番よいがその筋がやかましいのでそこは要領よくやる。

乾物店

品種が多いが品物毎に縦に陳列して見やすくまた賣り易いようにする。

金物店

最近賣れ行きが悪い、終戦後はよく賣れ多く出過ぎて一応は需用が足りたためで、中には良い成績をあげている店もあるが稀れである大体家庭金物は小さくして建築、農薬用金物大工等の専門金物に主力を注ぐべきである。

酒店

利益が薄く專業では経営困難である。昔は調合して儲けたが今はビン詰が多いので醸造家に儲けられて小賣は利が少ない。それに貸倒れが出る。味噌、醤油その他と混ぜて経営する一方酒を現金化するため、一杯屋式のバーを設けることも一つの方法である。

文具書籍店

万引が多く、安物より高價なものが多く盗まれる。万引を防止すれば相当の利益があがる万引防止には色々方法も有ろうが、背中を見ず手元のよく見える様な位置で監視する。

良上はほんの大要であるがくわしい事は商工会へ御相談の上町発展に盡力されんことを希望する。

第六回文化祭を觀て

◇◇◇